

ミクロ・マクロ経済学演習 復習問題(第9回)

2013.11.27 担当：河田

学籍番号 _____

氏名 _____

※ 12月2日(月)17時までに、河田研究室(514)まで提出すること。

※ 途中の式や思考過程はそのままにしておくこと。

1. ある財の市場の需要曲線と供給曲線がそれぞれ、

$$D = -P + 100$$

$$S = P - 40 \quad (D: \text{需要量}, S: \text{供給量}, P: \text{価格})$$

で示されるとき、この財1単位当たり20の従量税を賦課した場合の超過負担(死荷重)の値はどれか。

- 1 : 100
- 2 : 200
- 3 : 300
- 4 : 400
- 5 : 500

(特別区 2006)

2. ある財の市場が独占企業によって支配されており、需要関数及びこの企業の費用関数が次式で示されている。この独占企業の設定する最適価格として、正しいのはどれか。

$$D = 10 - P$$

$$C = 2X \quad (D: \text{需要量}, P: \text{価格}, C: \text{総費用}, X: \text{生産量})$$

- 1 : 2
- 2 : 3
- 3 : 4
- 4 : 5
- 5 : 6

(東京都I類 2004)

3. 独占市場において、需要曲線が $P = 18 - 2x$ (P : 価格、 x : 生産量)、総費用が $TC = x^2 + 10$ で与えられているとき、均衡における限界収入の値はいくらか。

- 1 : 3
- 2 : 5
- 3 : 6
- 4 : 12
- 5 : 18

(国家Ⅱ種 2005)

4. ある財の独占市場において、企業が利潤最大化行動をとるものとする。この企業の平均費用曲線(AC)は $AC = \frac{1}{2}x + 50$ 、市場需要曲線は $x = 300 - 2p$ である。ここで、 x は数量、 p は価格を表す。このとき、均衡における財の価格はいくらか。

- 1 : 100
- 2 : 125
- 3 : 150
- 4 : 175
- 5 : 200

(国家Ⅱ種 2009)

5. 市場は通常、完全競争状態にはない。賢い生産者は生産量を増やした場合、商品を完全に売り切るためには、価格を下げざるを得ないことを良く理解している。A町の団子屋もこの事を良く理解した賢い生産者である。最初の団子は100円で売れるが、生産量を1つ増やすごとに価格を1円下げなければ、団子を売り切ることが出来ないと考えている。例えば、10本の団子を作った場合、価格を90円にしなければ売り切ることができないし、20本の団子を作った場合、価格を80円にしなければ売り切ることができない。団子を1本作る時の追加的費用(限界費用)が40円だとして、この団子屋が利潤を最大とするために行動するとしたら、1日に作る団子の本数は何本か。

- 1 : 10本
- 2 : 20本
- 3 : 30本
- 4 : 40本
- 5 : 60本

(地方上級 2007)